

ちくせい

特集

ちくせい
伝統工芸めぐり

技の銘品

桐下駄

散歩道 進化する桐下駄

すくすくスクール

結城市立結城西小学校

構成市の話題あれこれ

ニュースすくらんぶる

広域すくらんぶる

平成16年度決算

一般会計決算・特別会計決算

データ筑西広域

結城市、筑西市(旧下館市、旧関城町、
旧明野町、旧協和町)、桜川市(旧岩瀬町、
旧真壁町、旧大和村)

- 総人口 215,806人
- 総世帯 66,884世帯
(平成18年1月1日現在)

写真:筑西市旭ヶ丘遊水地から見た筑波山
(平成16年12月30日撮影)

撮影者:告 耕二氏(桜川市真壁町長岡)

編集・発行

筑西広域市町村圏事務組合

ホームページ <http://www.tikusei.or.jp>

結城地方の

桐下駄

人々に快適を与えてきた
良質な木材と伝統の技

伝統と革新的アイデアの融合

茨城県は静岡、香川と並び、桐下駄の三大産地と称されていることをご存知でしょうか。中でも結城地方は、優れた木が育つ東北地方から、良質な木材を容易に調達できるうえ、消費地である東京などの都市部にも近い、という地理的な条件から、全国有数の桐下駄の産地となりました。この地方で桐下駄づくりが始まったのは南北朝時代以前と伝えられています。以降、専門化した職人が誕生し、広く販売されるようになったのは、需要が増加し、販路が拡大された江戸時代中期以降と言われています。

桐下駄の製造には、長い時間が求められます。



歌舞伎で使う「花魁下駄」など、芸能文化においても桐下駄が活躍

「梅雨の雨にさらす

ことで製材した桐材

のアクを抜く『木取り

』では、木材が乾燥

するまで3〜4か

月かかります」と語

るのは、筑西市関城

桐下駄組合の会長で、

筑西市関本上（旧関

城町）にある猪ノ原

桐材木工所の二代目

でもある猪ノ原昭廣

さん。スケート下駄やタップダンス用の下駄

など、独自性溢れる製品を次々と開発する猪

ノ原さんはこうも語ります。

「職人には探求心も大事。私の場合、夢でも

仕事をしている時があるんです」伝統の逸品は、

熟練の技術だけでなく、革新的なアイデアを

生み出す若き職人のチャレンジ精神によって

守られているのです。

文化を伝える新たな取り組み

かつて結城地方にあった桐下駄の製造工場は約60軒。その後、若者の和装離れなどによっ



形が決まった桐材は、手作業による様々な工程を経て仕上げられる



良質な桐が育つ東北と大量消費地である東京。双方に近いことがきっかけで桐下駄文化が結城地方で生まれた

桐下駄の出来るまで

1 木取

約25cmの長さにした下駄の原形となる材料を木取りと言い、約4か月間、山積み状態で屋外で雨風にさらし、天日で乾燥させてあく抜きをする



2 組取

乾燥した木取りを糸ノコで上下2つに切り離して下駄の原形をつくる



3 七分仕上げ

4枚の丸ノコで下駄の歯形と長さの寸法を決定し、下駄の裏側をカンナにかける



4 鼻廻

下駄の裏側が仕上がったところで角を丸め下駄の形を決める



5 仕上げ

専用のカンナで表面部分を削り仕上げる



6 磨き加工

「とのこ」などを塗り、ウツクリ(かるかやの根)で木目の光沢が出るまで磨き上げる



7 紐掛け・前金

鼻緒をすげる紐掛けと、鼻緒の裏側に桐の葉型の前金を打ち付け完成



製材した桐材を、梅雨の雨であく抜きした後、乾燥させる「木取」



下駄の形は、桐材の角を丸める「鼻廻し」によって決められる



製品にとのこを塗り、光沢が出るように磨き上げて完成となる



鼻緒をすげる「紐掛け」。鼻緒に結城紬を使用した下駄もある

その数は減少してしまいましたが、近年少しずつ、若い世代にも古い文化に関心を持つ人が増えています。結城市鍛冶町にある柳田履物工場は、全国で唯一の直売所を併設する桐下駄工場。歌舞伎役者や時代劇で使用する下駄の製造も行っています。

「主なお客さんの年代層はお年寄りより30〜50代の主婦。口コミやインターネットで調べてくる方が多いですね」と語るのは、同工場の四代目で、全国木製はきもの業組合連合会会長を務めている柳田幸夫さん。

柳田さんは、地元小学生の産地視察の受け入れや市の商工観光課と連携して鼻緒をすげる工程を体験できるイベントを開催するなど、時代の流れを踏まえつつ、伝統文化の普及に努めています。こうした活動が実り、現在で

は地元の方や常連さんのみならず、東京や大阪からもインターネットを通じて発注があるそうです。

ファッション性以外にも、姿勢の矯正などにも効果的とされ、健康面でも注目を集める桐下駄。そこには、桐の素材が持つ柔らかさと、後世に桐下駄の魅力を伝えたい、という職人の温かな思いやりが込められています。



柳田幸雄さんと奥さんの正子さん店頭での販売も行っている



親子三代で桐下駄作りを続けている、猪ノ原桐材木工所の皆さん

散歩道

進化する桐下駄

軽くて丈夫なうえ、履き心地の良さで人気の桐下駄。近年のリバイバルブームも手伝って、世代を問わず注目を集めています。県西地域でも、昔ながらの伝統的な榎下駄のみならず、室内履きにする方もいるという草履タイプやサンダルタイプ、おしゃれでジーンズなどにも合わせやすいヒールタイプなどカジュアルなタイプの下駄が製造されています。

実際には履きませんが、かわいらしさで好評なのが、通常の1/5ほどのサイズのミニ下駄です。もちろん、製造法は通常と同様で、職人のこだわりが込められた精巧な仕上がりが、インテリアや外国の方のおみやげにもぴったりです。

気軽に履ける下駄が増えたからこそ重要なのが日常の手入れ。汚れた時はきつく絞った布で拭いて陰干しをしてください。左右を取り替えながら履くのも長持ちさせるポイント。桐下駄は、時代とともに進化を遂げてきた誇るべき伝統工芸。その火を絶やさぬためにも大切に履き続けたいものです。



時代焼と呼ばれる表面を黒く焼く加工が施されている

結城市●

HP <http://www.city.yuki.ibaraki.jp>

ゆうき物産まつり ~ゆうきの物産と見世蔵めぐり~ 2月5日(日)午前9時~午後3時

紬のふるさと結城市で、結城紬をはじめとした地元の物産をテーマにした体験イベントや、桐工芸品の展示・特産品の即売会を開催します。また、登録有形文化財の見世蔵の一般公開と観光ガイドによるツアー



も同時開催します。体験イベントは、桐下駄のはな緒つけ体験、藍のしぼり染め体験、繭でお花づくり体験、採りたて長ネギのキムチづくり体験などがあります。歴史のまち結城で、楽しい一日をお過ごしください。

お問い合わせ／☎0296-34-0421 商工観光課

第6回 結城シルクカップロードレース大会 2月19日(日)

6回目を迎える、結城シルクカップロードレース大会。鹿窪運動公園をスタートし結城第一工業団地までを周回するコースに、約1500人のランナーが挑戦します。当日は、親子ペア、小・中学生、一般(男子・女子)など2キロ~10



キロの種目に別れ、それぞれのレベルで健脚を競います。結城の冬の風物詩であるロードレース大会。皆さん応援に来てください。

お問い合わせ／☎0296-32-6340 社会体育課

筑西市●

HP <http://www.city.chikusei.lg.jp>

しもだて美術館企画展 岩合光昭写真展 ネコ・ねこ・猫 2月28日(火)まで

『生命のつながり』をテーマに、地球上のあらゆる地域をフィールドにして野生動物や大自然を撮り続け、海外でも高く評価されている写真家・岩合光昭(いわごうみつあき)。しもだて美術館では、彼のもうひとつのライフワークである



『猫』の作品の中から、日本各地や地中海などで撮影した85点と、アフリカや北極圏などで撮影した野生動物作品約15点を紹介します。入場料は一般500円、高校生以下は無料。

お問い合わせ／☎0296-23-1601 しもだて美術館(アルテリオ3F)

地域文化功労者表彰を受賞 小栗の太々神楽保存会

小栗の太々神楽保存会が、小栗内外大神宮太々神楽(おぐりないげだ いじんぐうだいだいかぐら)=県指定無形民俗文化財の継承に尽力した功績により、地域文化功労者表彰を受賞しました。同表彰は、多年に



わたり地域の文化振興に功績のあった個人や団体に対し、文部科学大臣から贈られるものです。小栗内外大神宮太々神楽は、寛延4年(1751)、山城国愛宕郡三嶋神宮宮司から、当時内外大神宮の宮司だった小栗山城守宣政に伝えられたといわれ、現在も、春と秋の例祭に奉納されています。

お問い合わせ／☎0296-22-0183 教育委員会文化課

桜川市●

HP <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

桃の節句は、桃の花が咲く季節への憧れ 真壁のひなまつり 和の風 第四章 2月4日(土)~3月3日(金)

今年も真壁にひなまつりの季節がやってきました。120余軒の民家・商家に江戸時代から現代までのおひなさまが飾られ、歴史的建造物・街並みとおりなす造形美は訪れた方の



目を楽しませてくれることでしょう。これは、地域のみなさんのおもてなしの心からはじまったもので、今では茨城を代表するイベントになりました。昨年は、期間中に10万人を超える方が訪れ大変な賑わいをみせました。ぜひ、真壁のひなまつりにおいでください。

お問い合わせ／☎0296-55-1111(代表) 桜川市商工観光課

ますみがいけ 枳箕ヶ池にコハクチョウ飛来

友部地区のJR水戸線羽黒駅近くの枳箕ヶ池に、冬の使者コハクチョウがシベリアから飛来し、カモなどに交じって長旅の疲れを癒しています。この池は県内でも有数の白鳥飛来地で、もともと農業用水確保のために人工的に作られたため池に、5年ほど前から白鳥が飛来するようにな



りました。白鳥の数は年々増え、今年はいくつで30羽ちかくが確認されています。晴れた日には、加波山も顔を出し素晴らしい景観が楽しめます。

お問い合わせ／☎0296-55-1111(代表) 桜川市商工観光課

児童が主役で地域交流を広げる「くすのきまつり」

結城西小学校は、結城市の北西にあり、栃木県小山市と隣接する地域が学区となっています。学校のシンボルである「くすのきやま」には、白い文字で校名が刻まれており、学校の前を通るJR水戸線の車窓からもはっきりと確認できます。児童数は396名で、各学年とも2クラスずつの規模です。

同校では、毎年秋季に「くすのきまつり」と題した学校祭が催されています。児童はこのお祭りを楽しみにしており、早い時期から実行委員会を組織し、全児童に呼び掛けて活動を盛り上げていきます。昨秋は「夢」をテーマに、「夢



昨秋のくすのきまつりのテーマは「夢」



ペットボトルのロケットは大人にも人気



昨秋のマスコットキャラ「ハピネスくん」



「くすのきやま」は結城西小のシンボル



左から、秋葉武教頭、長谷川忠校長

フェスティバル」の副題のもと、全児童が自分の夢を大きな紙に書いて、会場となった体育館いっぱいに掲示したほか、一人ひとりの夢が膨らむようにとの願いを込めて、実行委員の児童が休日返上で膨らませた大量のゴム風船が会場を鮮やかに飾りました。また、全児童にフェスティバルのキャラクターを募集したところ、候補作10点の中から投票の結果、2年生の坂本純さんの作品「ハピネスくん」が選ばれました。そして、実行委員会担当の船越久美子教諭の指導のもと、「ハピネスくん」の置き型の模型と着ぐるみ型の模型が制作され、人気の的となりました。

では、「夢」をテーマにした熱弁が披露され、会場に感動を湧き起こしました。家族連れで参観に訪れる保護者の方が大変多く、約300名のPTA会員数にプラス100席用意した席はすべて埋め尽くされたそうです。

午後は、PTA役員の方々が中心となり、ゲーム等のイベントや食品の模擬店が立ち並びました。思い思いにテントを巡り、楽しいひとときを過ごす子どもたちの中で特に好評だったのが、有志の父親による「おやし屋」のペットボトルロケット飛ばしです。誰もが懸命に飛距離を競い合っていました。

長谷川忠校長は、「くすのきまつり全体計画は、PTAと職員が合同で実行委員会を立ち上げて準備に当たってきました。保護者や地域の方々との交流を深める場としても大変意義深い行事です」と話してくださいました。

素晴らしい真壁の町並みを案内し続けます

エンジョイ!
CLUB

町並み案内ボランティア

桜川市



会長の塚本幸子さん(前列中央)と会員のみなさん

歴史的建造物が建ち並ぶ桜川市真壁地区。この内外に誇ることのできる伝統的建造物を一つひとつ丁寧に紹介するのが、町並み案内ボランティアです。設立は平成13年9月。旧真壁町歴史民族資料館が町並み案内のボランティアを募集したところ、18名の応募がありました。応募者は、資料館の学芸員から研修を受け、実際に町並みを歩きながら実地で覚えめました。会員は、みな真壁を大切に思っている人ばかり。今では104棟もある登録有形文化財(建造物)を把握して案内をしています。

また、石蔵を利用したコンサートやオープンガーデン、2/4/3/3に行われる「真壁のひなまつり」などのイベントを行い、観光客も平成16年には10万人を超える大盛況。これからもまちの活性化を目指して、何度でも真壁に来てもらえるように、素晴らしい町並みを親切・丁寧に案内し続けます。

筑西広域市町村圏事務組合

桜川市誕生に伴い新体制スタート!!

組合執行部

10月1日の桜川市誕生に伴い、筑西広域市町村圏事務組合の正副管理者(構成市長)が次のように決まり、新たな執行部体制がスタートしました。



写真右から副管理者:小西栄造(結城市長)、管理者:富山省三(筑西市長)、副管理者:中田裕(桜川市長)、収入役:大木均(筑西市収入役)



◆正副管理者・収入役

(平成17年11月1日現在)

組合役職名	市役職	氏名
管理者	筑西市長	富山 省三
副管理者	結城市長	小西 栄造
副管理者	桜川市長	中田 裕
収入役	筑西市収入役	大木 均

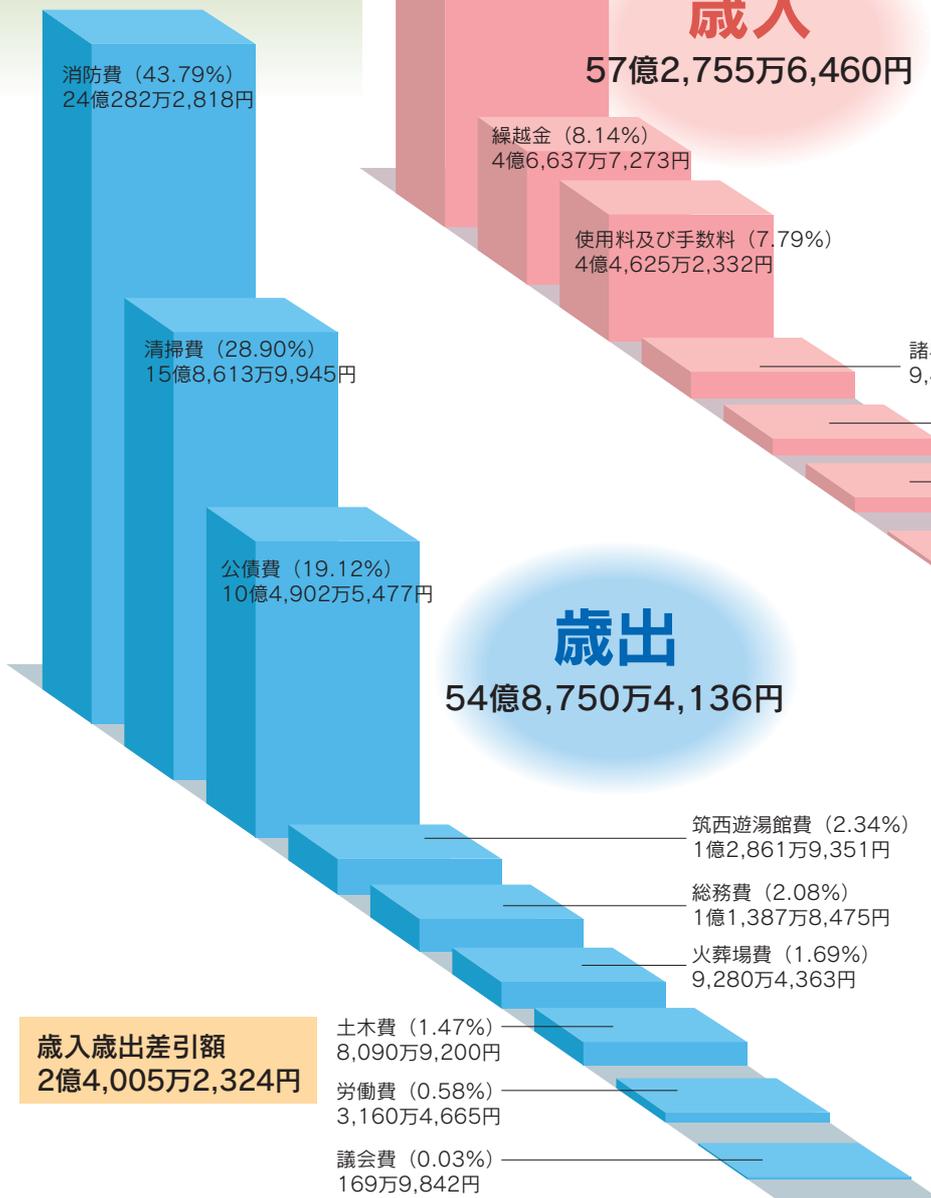
組合議会

これまで26名だった組合議会も、定数が20名に変更となり、組合構成の各市議会より次の方々新たな組合議員として選出されました。



⑪ 増田 昇 (桜川市)	⑫ 増田 豊 (桜川市)	⑬ 鈴木 政夫 (桜川市)	⑭ 櫻井 信志 (筑西市)	⑮ 關 四郎 (筑西市)	⑯ 山口 明 (筑西市)	⑰ 山口 幸一郎 (筑西市)	⑱ 副議長 関 好一 (結城市)	⑲ 前場 文夫 (結城市)	⑳ 孝井 恒一 (結城市)
① 齊川 芳男 (桜川市)	② 臼井 正 (桜川市)	③ 齊藤 晃 (筑西市)	④ 荒山 一郎 (筑西市)	⑤ 加藤 勇 (筑西市)	⑥ 枝 修一 (筑西市)	⑦ 榎戸 甲子夫 (筑西市)	⑧ 議長 箱守 茂樹 (筑西市)	⑨ 鈴木 義雄 (結城市)	⑩ 鈴木 孝一 (結城市)

決算



一般会計

[平成16年度構成3市(旧8市町村)別分賦金決算額]

市名	決算額	構成比
結城市	1,074,268千円	23.37%
筑西市	2,450,834千円	53.32%
旧下館市	1,378,245千円	29.99%
旧関城町	360,024千円	7.83%
旧明野町	373,766千円	8.13%
旧協和町	338,799千円	7.37%
桜川市	1,071,083千円	23.31%
旧岩瀬町	422,726千円	9.20%
旧真壁町	459,656千円	10.00%
旧大和村	188,701千円	4.11%
合計	4,596,185千円	100.00%

分賦金	構成3市(旧8市町村)の負担金
使用料及び手数料	組合各施設の使用料及び消防の危険物施設の申請手数料等
国庫支出金	消防車両への国からの補助金
県支出金	県西総合公園への県からの委託金及び消防車両への県からの補助金
財産収入	組合財産の運用収入
諸収入	預金利息等
組合債	組合施設等の整備に必要な借入金

諸収入 (1.65%)	9,476万3,325円
組合債 (1.02%)	5,850万円
県支出金 (0.92%)	5,248万1,810円
国庫支出金 (0.22%)	1,265万4,000円
財産収入 (0.01%)	34万2,720円

議会費	組合議員26名の報酬の他議会運営に係る経費
総務費	組合事務局・組合全般に係る経費
筑西遊湯館費	筑西遊湯館の管理運営に係る経費
土木費	県西総合公園の管理運営に係る経費
清掃費	環境センターのゴミ・し尿の処理業務の管理運営に係る経費
火葬場費	きぬ聖苑(火葬場・斎場)の管理運営に係る経費
消防費	消防・救急業務の管理運営に係る経費
労働費	筑西地域職業訓練センターの管理運営に係る経費
公債費	借入金の元金、利息の返済にあてる費用

特別会計

筑西ふるさと市町村圏特別会計

歳入	2,046万5,217円
歳出	1,653万7,729円
差引額	392万7,488円

ふるさと市町村圏特別会計は、基金10億円の利息により文化、人材活用・育成、広域イベントの開催など、さまざまなソフト事業に取り組んでいます。

老人福祉事業特別会計

歳入	1億2,194万2,189円
歳出	1億1,686万3,792円
差引額	507万8,397円

老人福祉事業特別会計は、桜川市(旧大和村)にある老人福祉センター「あまびき」の管理運営にあてられています。

住宅用火災警報器等の設置義務

住宅火災から大切な命を守るために

消防法改正により、筑西広域市町村圏事務組合火災予防条例において設置及び維持の基準が定められました。全国で住宅火災による死者数が急増しており、昭和61年以来1000人を超える結果となっています。また、死者の過半は、65歳以上の高齢者であり今後、高齢化の進展に伴い死者数の増加が心配されます。

【設置時期について】

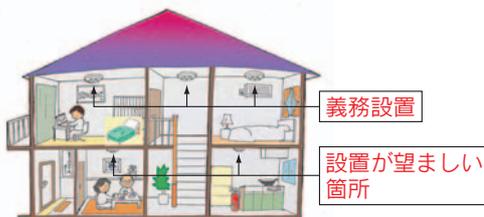
- 新築住宅については、平成18年6月1日からです
- 既存住宅については、平成23年5月31日までに設置

【悪質な訪問販売に注意】

- 不当に高い価格で販売する
- 消防職員を装って販売する※消防署では販売していません。

【問い合わせ】

筑西広域市町村圏事務組合消防本部
予防課 TEL 0296-24-4589 (直通)



下館消防署 24-4504	結城消防署 32-5145	岩瀬消防署 75-3592	真壁消防署 55-2403
関城分署 37-2444	明野分署 52-1581	協和分署 57-3479	大和分署 58-6851

筑西遊湯館入館者50万人を達成

平成15年4月にオープンした筑西遊湯館（筑西市下川島471-2）の入館者が、平成17年12月5日（月）に50万人を達成いたしました。50万人目の方は筑西市玉戸にお住まいの飯泉ふじ子さんと、飯泉さんは「週に3日は利用しており、美容と健康のために通っています。50万人といわれて本当に驚きました。この施設の方々は親切で、これからも利用させていただきます」と大喜びの様子でした。

50万人目の記念品と花束を、組合管理者である富山省三筑西市長から贈呈いたしました。



平成17年度 小・中学生防火標語コンクール最優秀作品

小学生低学年の部
しあわせと え顔ももやす こわい火事
筑西市立竹島小学校3年 大山圭奈

小学生高学年の部
火のしまつ 心で消さない 目でかくにん
筑西市立小栗小学校4年 柳田 遥

中学生の部
壁じゃなく 心にはろう 火の用心
筑西市立明野中学校2年 黒坂圭奈美

筑西広域防火管理協議会

パソコンExcel応用講座の募集

【対象者】 パソコンの基本的な入力ができる方
【実施日】 (全3回) 平成18年2月25日、3月4日、3月11日(各土曜日)
各日とも午前9時～午後4時

【場所】 筑西地域職業訓練センター

新入社員研修の募集

【実施日】 平成18年3月27・28日(2日間)
午前9時～午後4時

【場所】 筑西地域職業訓練センター

【問い合わせ・申し込み】 お電話で確認のうえ
筑西地域職業訓練センター まで
TEL 0296-75-1254

ボランティア応急手当指導員の募集

【内容】 広域圏内で開催する救命講習会(心肺蘇生法等:3時間)の指導にあたります。

【募集人員】 10名

【対象】 広域圏内在住の成人の方

【資格要件】 応急手当指導員としての認定を受ける必要があります。

(40時間の認定講習を受講、応急手当に必要な基礎的な知識技能・指導要領等)

【認定講習会日時】 (3日間の普及員認定講習)

平成18年2月20・21・22日

午前8時30分～午後5時30分

【問い合わせ・申し込み】

随時 筑西広域管内救急高度化推進委員会(筑西広域消防本部警防課内) TEL 0296-24-4104)

平成18・19年度一般(指名)競争入札参加申請受付

建設工事、測量・建設コンサルタント、物品・役務などの入札参加申請を受け付けます。筑西広域市町村圏事務組合が行う入札に参加を希望する業者は、必ず申請してください。

【日時】 2月1日(水)～15日(水) (土、日、祝日を除く)
午前9時～11時30分・午後1時～4時30分

【申請書類】 「統一様式」にて〔平成18年1月1日以降作成のもの(各種証明書を含む)〕

【問い合わせ】 筑西広域市町村圏事務組合 事務局総務課契約係 TEL 0296-22-7979

詳しくは、組合ホームページを参照してください。
(http://www.tikusei.or.jp)

クイズで知るちくせい広域 抽選で8名の方に筑西広域の特産品をプレゼント!

※当選者は次号の「ちくせい」で発表させていただきます。

次の3つの質問にそれぞれ当てはまる言葉(今回は○の中にはすべてひらがな一文字分が入ります)をお答えください。筑西広域に関する言葉が入ります。

問1 「寒い中、真壁を訪れる人をもてなそう」という地域住民の方々の呼び掛けが始まったお祭り。毎年、立春の日から3月3日の約1か月間にわたり開催されています。期間中は町中の家や商店などにたくさんのお雛様が飾られ、大勢の人たちでにぎわいます。



答え: 真壁の○○まつり

問2 日本古来から続く伝統的な履き物。静岡、香川と並び、日本三大産地の一つである結城地方は、江戸時代からその伝統技術を守り続けています。現在は女性向けのサンダル型や子供用の小さいものまで製造されています。桐の柔らかな履き心地とカラコロンと快い音が特徴的です。



答え: 桐○○

問3 雨引観音の近くにある宿泊施設。宿泊以外にも、研修やお祝い事、法事などにも利用できます。雨引山の中腹という場所柄、その景観も好評。特に夕暮れの筑波山とその下に広がる真壁の夜景は必見です。雨引山楽法寺の延命水を利用している浴場も人気の理由です。



答え: 福祉センター○○○○

応募方法/官製ハガキの裏に、3問すべてのクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してご応募ください。

応募先/〒308-0803 筑西市直井1076

筑西広域市町村圏事務組合

「クイズで知るちくせい広域」係

応募締切/平成18年3月20日(月) 当日消印有効

前号の答え

問1:「桜川市(さくらがわ)」
問2:「真壁石灯籠(いしどうろう)」
問3:「筑西遊湯館(ゆうゆ)」
問4:「関城梨(なし)」

応募総数315通 当選者8名

赤塚 和泉さん[結城市] 中野 尋恵さん[筑西市]
太田 美帆さん[結城市] 田山 敏規さん[筑西市]
内田なか江さん[筑西市] 増淵 美さん[桜川市]
大木 喜美さん[筑西市] 根本 智史さん[桜川市]